

2021年10月17日 聖霊降臨後第二十一主日礼拝説教
「仕える者の苦しみと幸い」(マルコ10章35～45節)

○マルコ10章35～39節について

「あなたがたは、自分が何を願っているか、分かっていない。」(38節)
救い主イエスが、三度目に、ご自分の〈死と復活〉について語られた後、ヤコブとヨハネが「やがてキリストの着くべき王座の右と左に座りたい」と願い出た。そこでキリストは、彼らに〈復活の前に受ける苦しみ〉について教えられた。

「このわたしが飲む(苦しみと死の)杯を飲み、このわたしが受ける(血の)洗礼を受けることができるか。」(38節)

※十字架を信じるわたしたちも、苦しみや悲しみを通されながら、救いが支えられ、復活の命と体へと向って行く。

「あなたがたには、キリストを信じるだけでなく、キリストのために苦しむことも、恵みとして与えられている」(フィリピ1章29節)

○マルコ10章42～44節について

神の子イエスは、弟子たちの「苦しみと死を見ずして、神の誉れに与り、人よりも上に行きたい」との願いを改めさせるため、彼らに「(あなたがたは)皆に仕える者になり」(43節)、「すべての人の僕になりなさい。」(44節)と命じられた。

*「仕える者」、「僕」^{しもべ}について

- ①神から他の人に与えられる救いや喜びのために、受けたものや、持っているものを、神に献げ続けていく人。
- ②他の人に施される神の憐れみが現れるため、日ごと、神のみことばに聴き従い、悔い改めと祈りを献げていく者。

今日のみことば：マルコ10章45節

「^{ひと}の子は^こ仕えられるためではなく、^{つか}仕えるために、また^{おお}多くの^{ひと}人の^{みのしろきん}身代金として^{じぶん}自分の^{いのち}命を^{ささ}献げるために^き来た」

*身代金：神は、キリストが十字架の上で献げられた命と引き換えに、わたしたちを買い戻された。

※人の救い、喜びのために受ける苦しみは、あなたの信仰を強め、復活に至る道筋が整えられるためのものでもある。